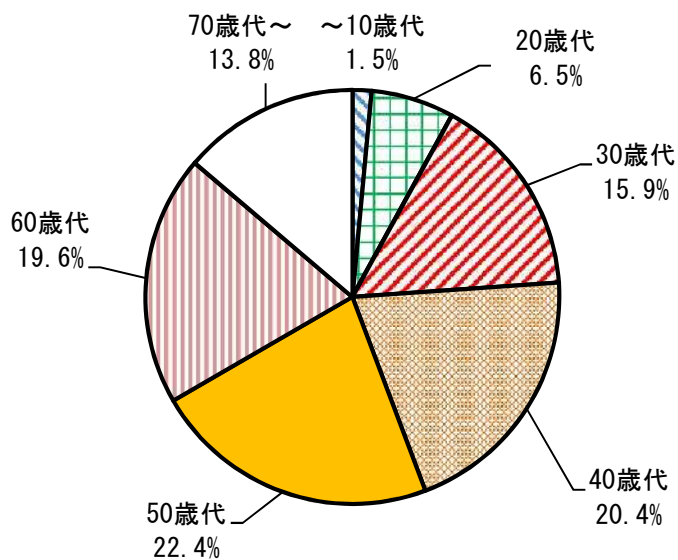


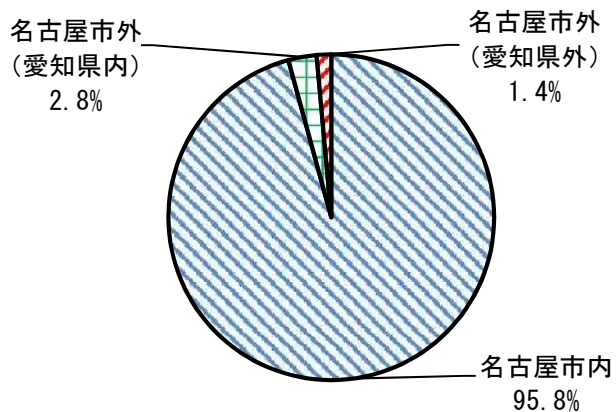
テーマ	【活断層型地震の認知度について】
実施日	R7.7.9
担当課	想定最大規模災害対策推進課
回答者数	1,742 人

属性

年齢	回答数	比率
～10歳代	26	1.5%
20歳代	113	6.5%
30歳代	277	15.9%
40歳代	355	20.4%
50歳代	390	22.4%
60歳代	341	19.5%
70歳代～	240	13.8%



住居地	回答数	比率
名古屋市内	1,668	95.8%
名古屋市外（愛知県内）	49	2.8%
名古屋市外（愛知県外）	25	1.4%

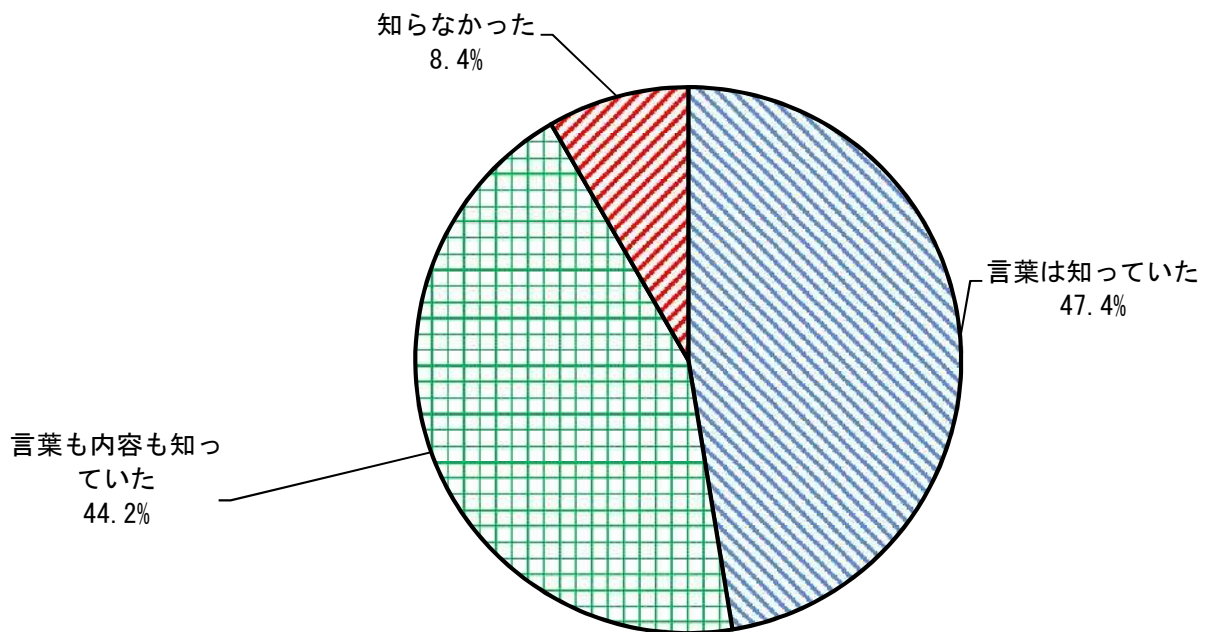


質問
単一回答

Q3. 活断層型地震（長い年月をかけて陸側のプレート内部に力が加わり、断層のずれにより発生する地震）について知っていましたか。

回答者数 1,742 人

選択肢	回答数	比率
言葉は知っていた	826	47.4%
言葉も内容も知っていた	770	44.2%
知らなかった	146	8.4%



質問

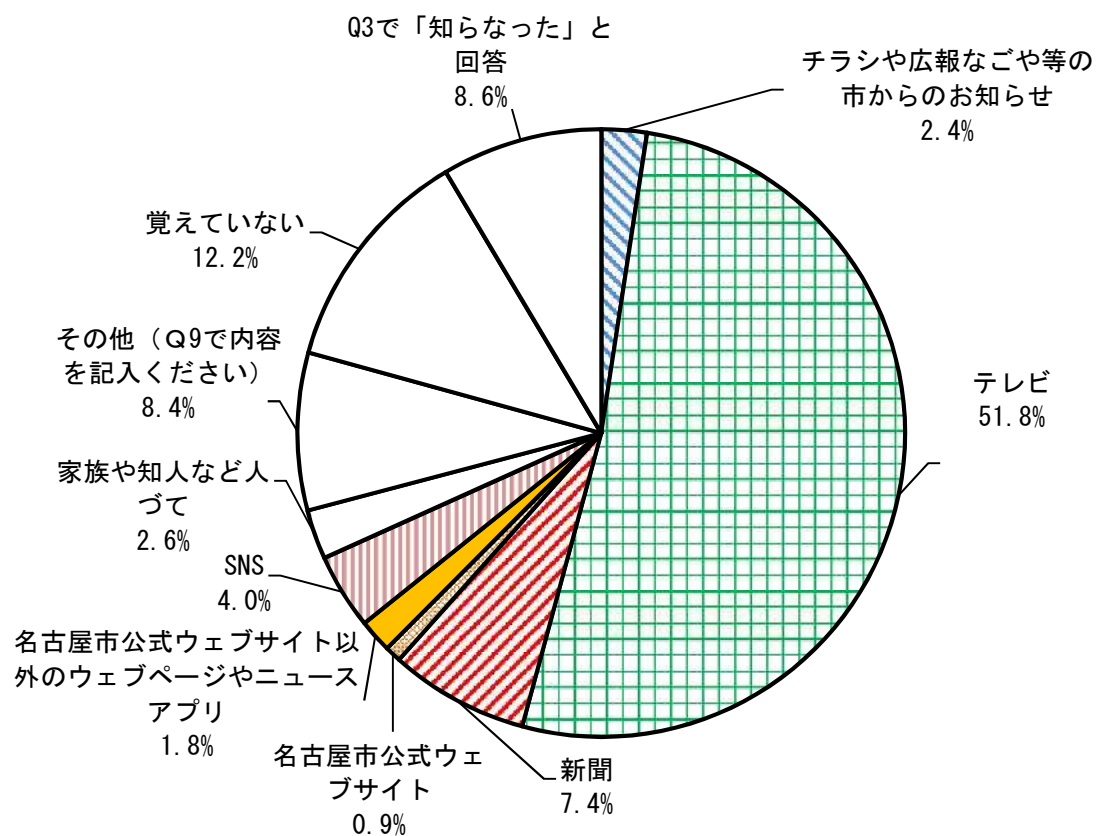
単一回答

Q4. (Q3で言葉や内容を「知っていた」と回答した方にお聞きします) 活断層型地震の言葉や内容について何で一番最初に知りましたか。

回答者数

1,742 人

選択肢	回答数	比率
チラシや広報なごや等の市からのお知らせ	42	2.4%
テレビ	902	51.8%
新聞	129	7.4%
名古屋市公式ウェブサイト	15	0.9%
名古屋市公式ウェブサイト以外のウェブページやニュースアプリ	31	1.8%
SNS	70	4.0%
家族や知人など人づて	46	2.6%
その他 (Q9で内容を記入ください)	146	8.4%
覚えていない	212	12.2%
Q3で「知らなかった」と回答	149	8.5%

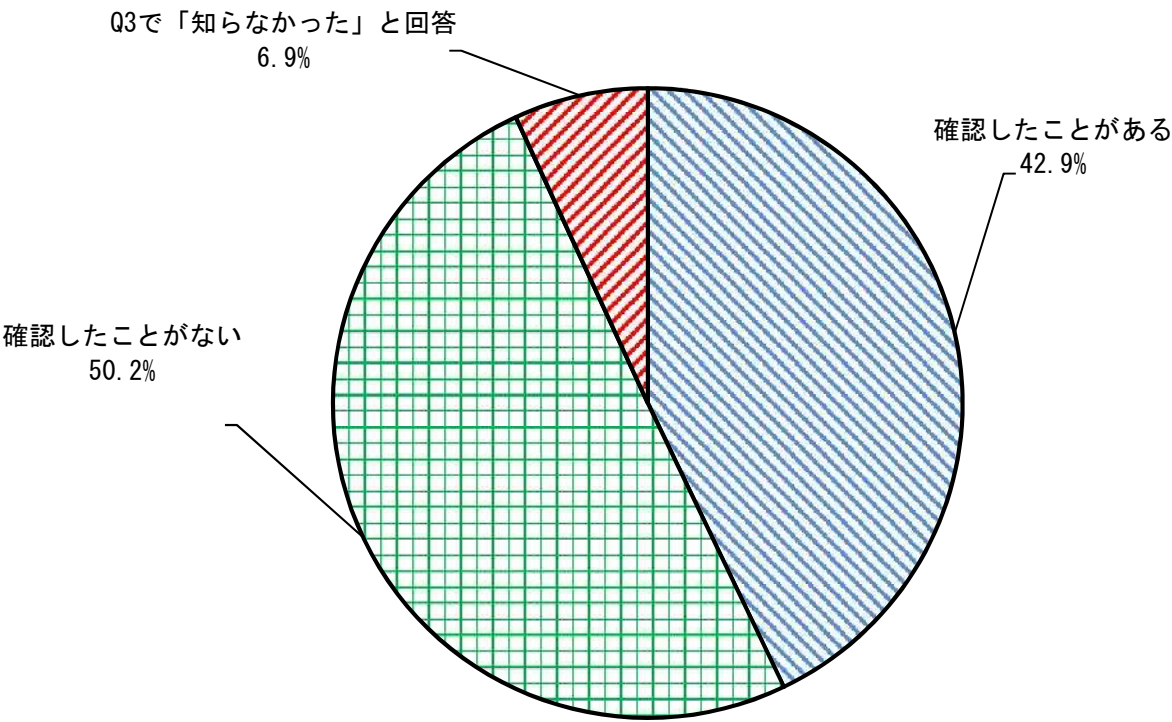


質問
単一回答

Q5. 活断層型地震で想定されるお住いの地域における震度分布など、身の回りでの影響を確認したことがありますか

回答者数 1,742 人

選択肢	回答数	比率
確認したことがある	747	42.9%
確認したことがない	875	50.2%
Q3で「知らなかった」と回答	120	6.9%

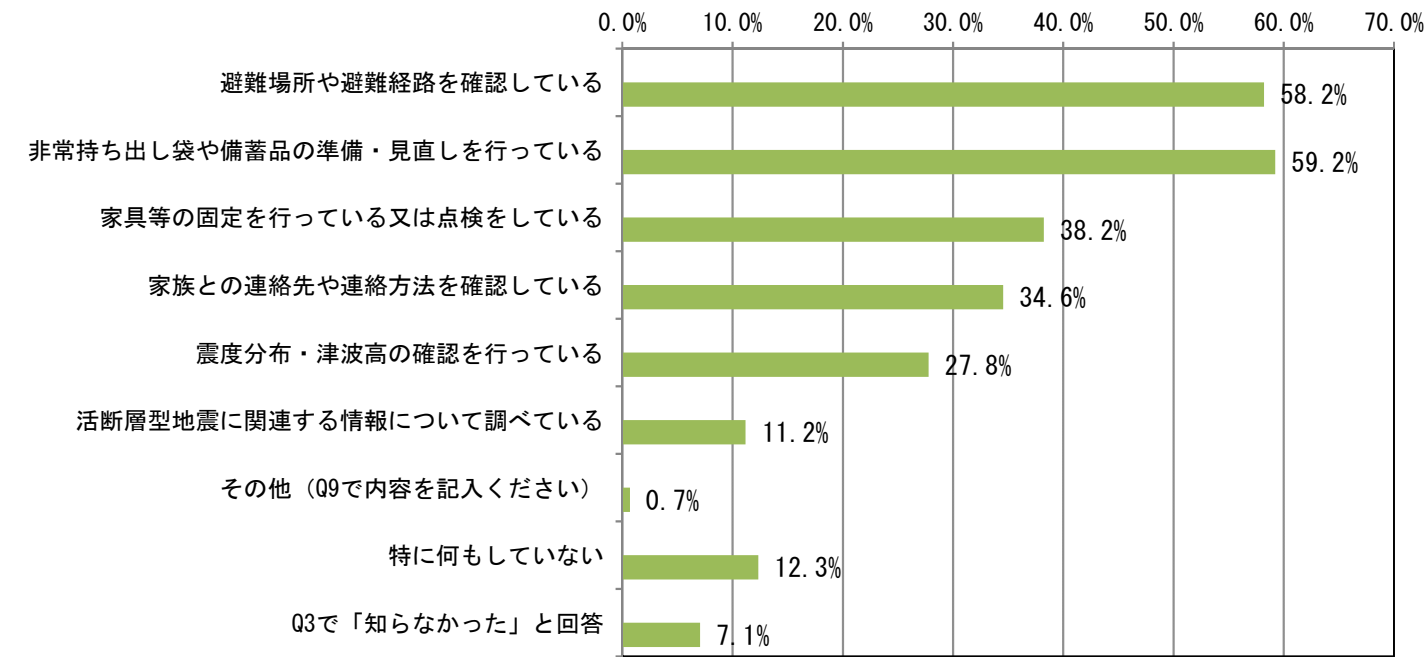


質問
複数回答

Q6. 活断層型地震への対策としてどのような行動をしていますか。（複数回答可）

回答者数 1,742 人

選択肢	回答数	比率
避難場所や避難経路を確認している	1,014	58.2%
非常持ち出し袋や備蓄品の準備・見直しを行っている	1,032	59.2%
家具等の固定を行っている又は点検をしている	666	38.2%
家族との連絡先や連絡方法を確認している	602	34.6%
震度分布・津波高の確認を行っている	484	27.8%
活断層型地震に関連する情報について調べている	195	11.2%
その他（Q9で内容を記入ください）	12	0.7%
特に何もしていない	215	12.3%
Q3で「知らなかった」と回答	123	7.1%

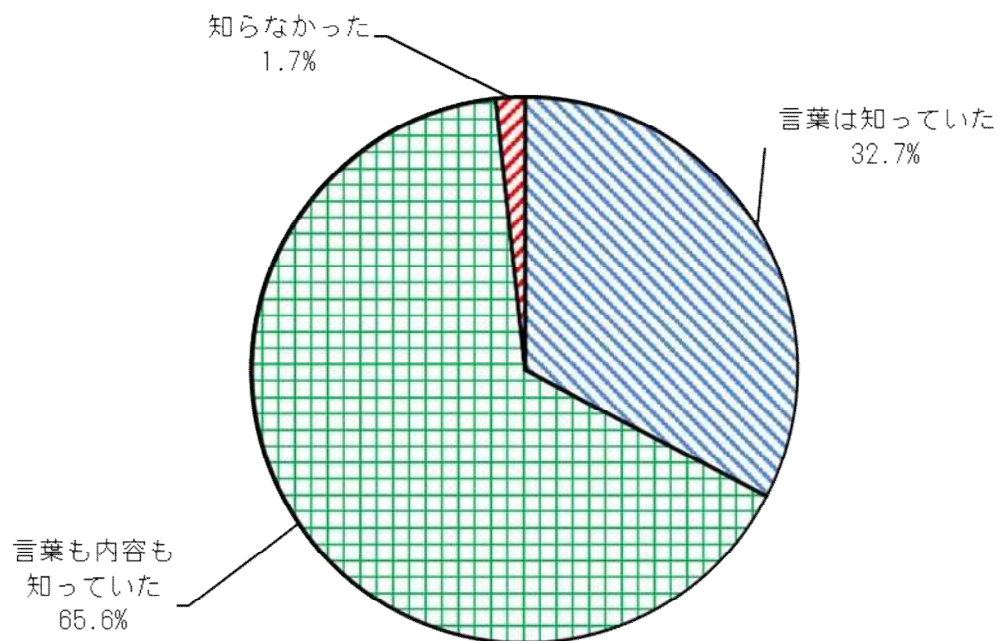


質問
単一回答

Q7. 南海トラフ地震（南海トラフ沿いで約100年から150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震）について知っていましたか。

回答者数 1,742 人

選択肢	回答数	比率
言葉は知っていた	569	32.7%
言葉も内容も知っていた	1,143	65.6%
知らなかった	30	1.7%

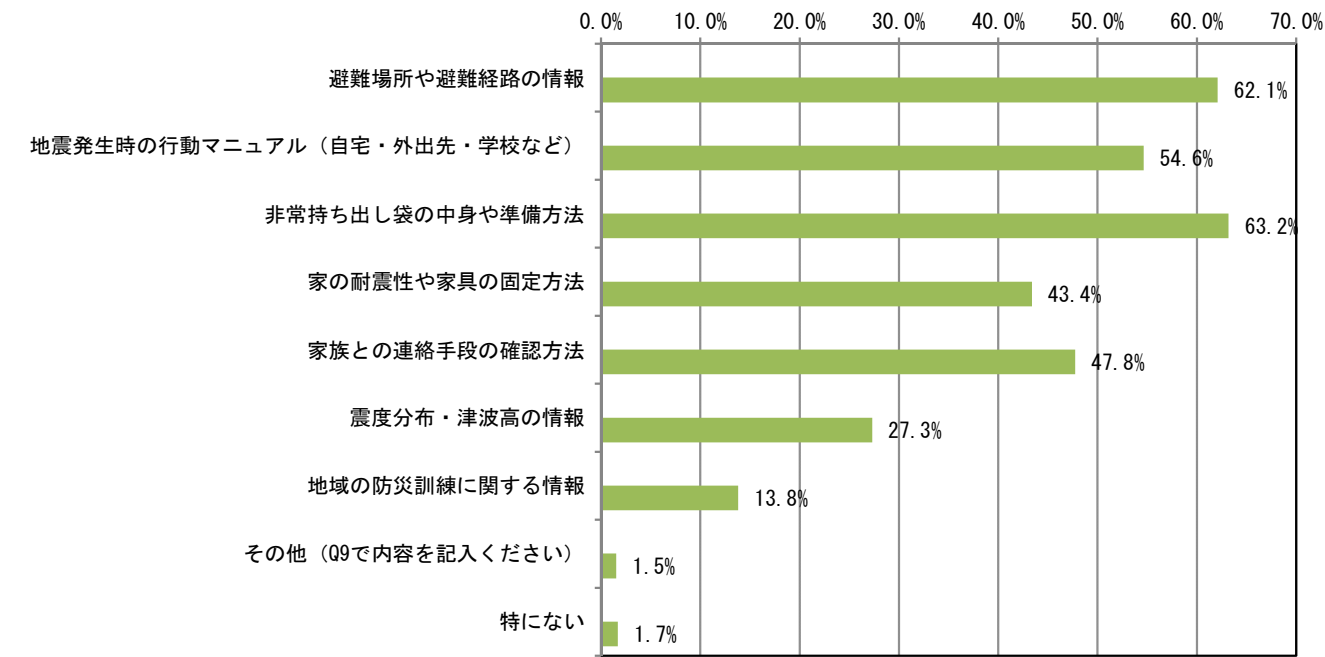


質問
複数回答

Q8.地震への対策を行うにあたって、主に必要だと思う情報は何ですか（3つまで回答可）

回答者数 1,742 人

選択肢	回答数	比率
避難場所や避難経路の情報	1,082	62.1%
地震発生時の行動マニュアル（自宅・外出先・学校など）	952	54.6%
非常持ち出し袋の中身や準備方法	1,101	63.2%
家の耐震性や家具の固定方法	756	43.4%
家族との連絡手段の確認方法	832	47.8%
震度分布・津波高の情報	476	27.3%
地域の防災訓練に関する情報	241	13.8%
その他（Q9で内容を記入ください）	27	1.5%
特にない	30	1.7%



質問

活断層型地震についてご自由にお書きください。

【抜粋】

・阪神淡路大震災を経験している為、活断層型地震について知っていました。

15年前、神戸より引っ越してきた際に、名古屋は阪神大震災以前の神戸よりずっと地震に対する避難訓練や防災意識は高いと感じました。

スマホ等の普及により、簡単に連絡できると感じている人が多いと思いますが、震災直後は携帯やスマホは繋がらなくなります。

公衆電話の位置の把握や、公衆電話のかけ方を知らない子供達にもかけ方を教えたり、家族とどこで落ち合うか等の話し合いは大切だと感じています。

・他の地域での活断層型地震については、ニュースで知っていましたが、名古屋市にも関係があると今回知りました。ありがとうございます。関連ページを拝見します。

・南海トラフ地震の方へ意識がどうしても偏っていたので、今回のアンケートで活断層型地震もあるのかとハッとしました。

今後は活断層型地震と南海トラフ地震を調べるとともに、身を守っていきたいとおもいます。また、今回のように活断層型地震の情報配信をお願いします。

・子供の頃から東海地震の訓練教育があった。

会社での地震火災についての訓練を定期的に行っていました。阪神も東日本の震災時に近くの都市に居ましたが比較的冷静に行動する事が出来て避難等の判断もつけやすかった。常日頃の高度な訓練と教育は必要と思いました。

・自分が住んでいる家が市営住宅の団地住まいで現在自分自身ひとり暮らしの状態で私自身が軽度の知的障害者で通所している生活介護事業所内で利用者と職員さん達とで地震などの災害対策の話し合いをしたりしていて、自宅の方とかはなるべく近所付き合いをいっぱいするように心がけています。

・家で備えてはいるが、外出先で遭遇したときに困ると思う。名古屋市は色々細かく力を入れていらっしゃるので、市外ですが参考にさせてもらってます。

・南海トラフは知っていましたが、活断層型地震というのがあるのは知らなかったです。改めて知ることができて気を引きしめたいと思いました。

・活断層型地震は、南海トラフ地震よりも認知度が低いように思います。

どんな地震や災害でも平時の時の備えは大切だと思います。

・まずは自分の命を守る。人の命を守るには、大人や回りに協力を仰ぐ。

生き抜いてこそ、復興や再生があると思ってます。

・活断層に限らず、大きな地震がいつ発生するか分からないので、家族と避難場所や連絡方法について話しています。非常持ち出し袋は最近更新していなかったなので、この機に確認したいと思います。